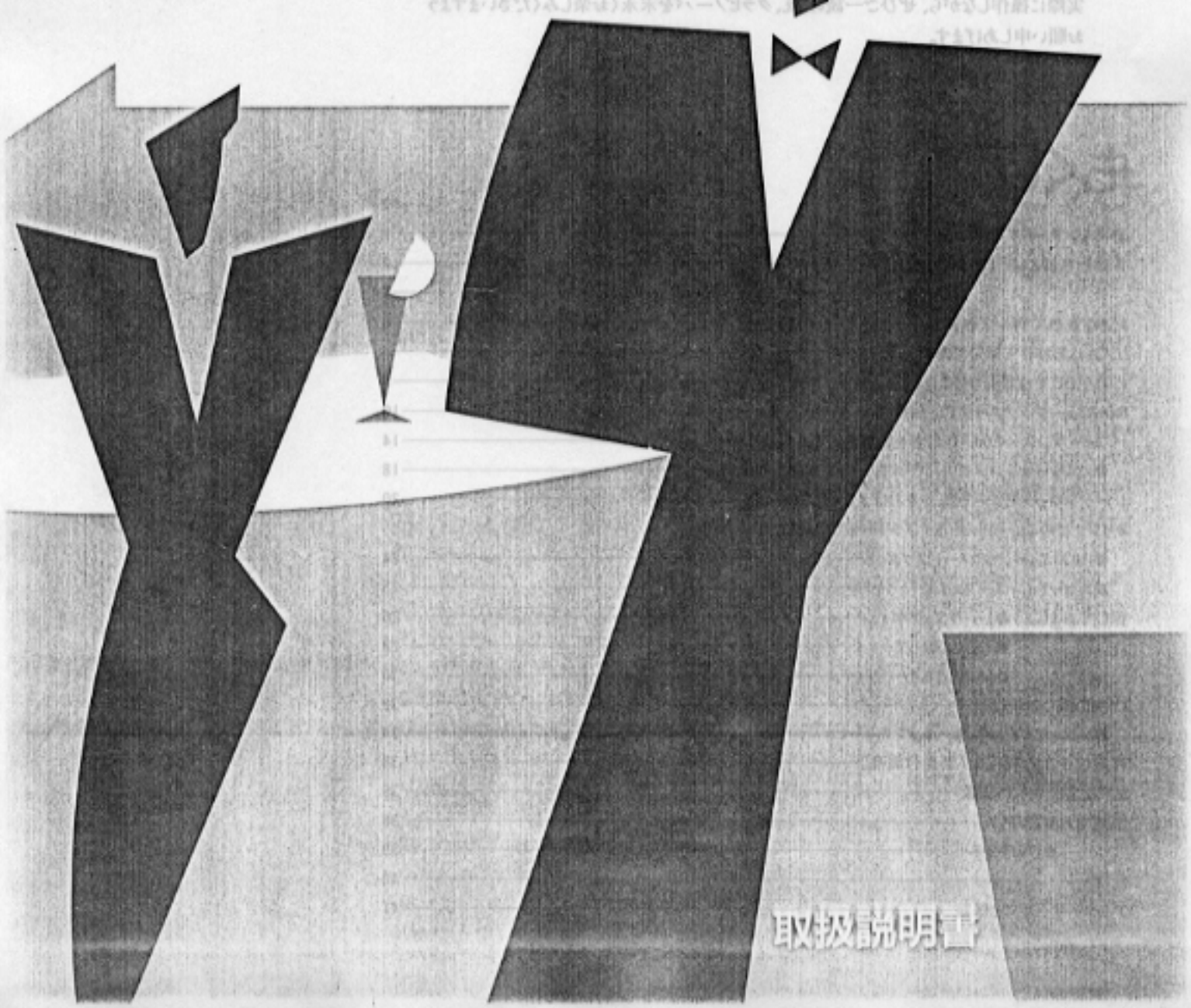


YAMAHA

Clavinova

CVP-7/CVP-5

このYAMAHA Clavinova CVP-7/CVP-5は、最新のデジタル・オーディオ・テクノロジーを採用し、ピアノの音色を忠実に再現するだけでなく、様々な楽器の音色も再現できる。また、自動伴奏機能により、演奏者が楽譜を見ながら演奏できる。さらに、録音機能により、演奏した曲を録音できる。このYAMAHA Clavinova CVP-7/CVP-5は、音楽愛好家にとって、最高の楽器である。



取扱説明書

ピアノ未来進行形、クラビノーバ

このたびは、ヤマハクラビノーバをお買上げいただきまして、ありがとうございました。クラビノーバは、常に新しい音とより高い音楽性を追求するヤマハが、先進のエレクトロニクス技術を結集して完成させた、画期的な鍵盤楽器です。

音づくりの原理には、独自のFM音源、PCM音源を採用し、いままでになく自然でイキイキとした楽器音と迫力あるリズムを実現。ピアノタッチの鍵盤によって、音量ばかりか音色まで変化させることができます。また、永年にわたって音楽を見つめてきたヤマハならではのROMミュージックブックシステムを搭載。クラビノーバの自動演奏を聴いて楽しんだり、基礎からキーボード演奏をマスターすることができます。また、演奏を2トラックで多重録音できるパフォーマンスメモリー機能、自動伴奏を記憶させるシーケンサーメモリー機能、さらにMIDI端子までも備えました。

この数々の特長によって、音楽表現の可能性を大きく広げた、クラビノーバ。ビギナーの方からハイ・グレードの方まで、自由なスタイルで音楽表現を楽しめる、まさに未来志向のデジタル・ピアノといえましょう。

本書では、その魅力を充分ご活用いただけるよう正しい取扱いかたをご説明しています。実際に操作しながら、ぜひ一読のうえ、クラビノーバを末永くお楽しみくださいますようお願い申し上げます。

もくじ

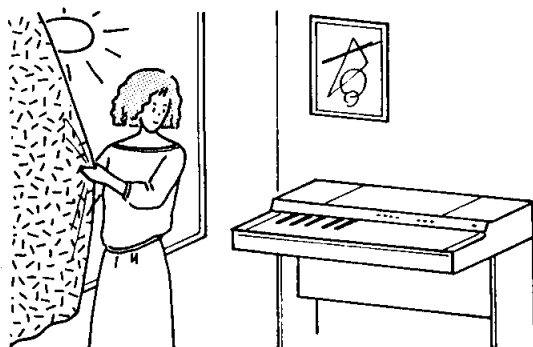
	(ページ)
演奏をスタートする前に	1
各部の名称とはたらき ●CVP-7	2
●CVP-5	4
好きな音色で弾いてみましょう	6
リズムにあわせて弾いてみましょう	7
ピアノABCで伴奏をつけましょう	8
ROMミュージックブックでレッスンを	10
パフォーマンスメモリーで演奏を記憶させてみましょう	14
●パフォーマンスメモリーで「メモリー」を演奏してみましょう	18
シーケンサーメモリーでコードをおぼえさせてみましょう	20
オリジナルのミュージック・ライブラリーをつくりましょう	
●RAMミュージックノートブック	24
●カセットインターフェイス	25
弾いてみましょう ●トゥ・ラブ・アゲイン	26
●やさしく歌って	28
●いそしぎ	30
MIDIの楽しみかた	32
●MIDIインプリメンテーションチャート	34
付属端子とオプション(別売付属品)	35
故障と誤りやすい現象	36
組立て方 ●CVP-7	38
●CVP-5	39
仕様	40
アフターサービスと保証	41

演奏をスタートする前に

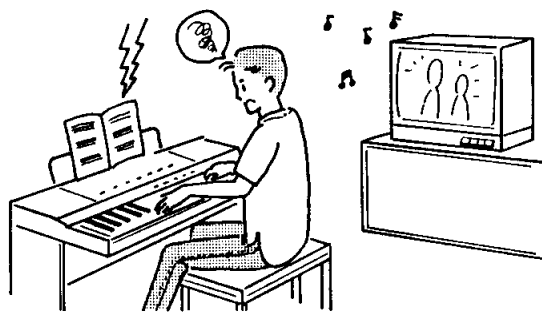
ながくお楽しみいただくために、次の点にご注意ください。

- クラビノーバの電源には、必ず家庭用AC100Vの電源コンセントをご使用ください。また、コンセントから抜くときは、コードをひっぱらずに必ずプラグを持って抜いてください。
長く使わない時や雷の鳴っている時はプラグを抜いてください。

- 直射日光が当たったり、暖房器具のそばなど極端に暑い場所に置くことはさけてください。本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。

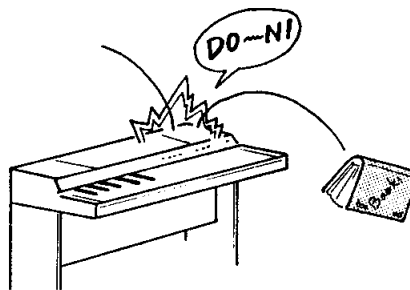


- 特に湿気が多い場所に置くことはさけてください。
- クラビノーバにはデジタル回路を多用しているため、ごく近くでラジオやテレビなどの電気機器を同時に使用すると、雑音や誤動作の原因になることがあります。他の電気機器から充分離してご使用ください。

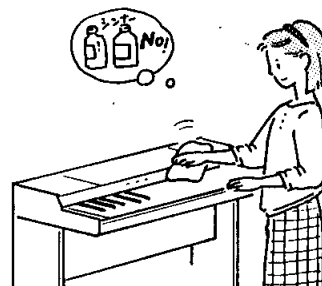


- CVP-7のふたを開けるときは、両手で少し持ち上げ、手に持ったまま静かに押し込みます。また、ふたの上に重い物を乗せないようにしてください。

- 過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を倒したり、上に座ったりしないように注意してください。



- 本体のお手入れは、乾いた布でカラぶきをするか、よごれのひどい時は少し水で湿らせた布でふいてください。
アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。
また、塩ビ系のものを長時間置くと、くっつく場合があります。



- ホコリなどからの保護のために、ご使用後は付属のトップカバーをご利用ください。
- ご使用後は、必ずパワースイッチを切ってください。



各部の名称とそのはたらき

CVP-7

オートリズムAUTO RHYTHM

テンポコントロール

TEMPO

(リズムの速さを調節するレバーです。)

リズムボリューム

VOLUME

(リズムの音量を調節するレバーです。)

ピアノABC(オートベース/コード) PIANO ABC (8~9ページ)

ピアノABC用鍵盤でコード(和音)をおさえるだけで、リズムカルな和音とベースによる伴奏ができます。

コードボリューム CHORD VOLUME

[ピアノABCのコード伴奏の音量を調節するレバーです。]

オクターブ OCTAVE

[ピアノABCを使っているとき、このボタンをおすと弾いているメロディーにその1オクターブ上の音加わり、厚みのある演奏をすることができます。]

ベースボリューム BASS VOLUME

[ピアノABCのベース伴奏の音量を調節するレバーです。]

スタッカート STACCATO

[このボタンをおすと、ピアノABCのコード伴奏が歯切れのいいスタッカートで演奏されます。]

ピアノABCスイッチ ON/OFF

[ピアノABCを使って演奏するときにおすボタンです。もう1度おすとキャンセルされます。]

アカンパニメント1・2・3

ACCOMPANIMENT 1・2・3

[ピアノABCのパターンを選ぶボタンです。]

付属端子 (35ページ)

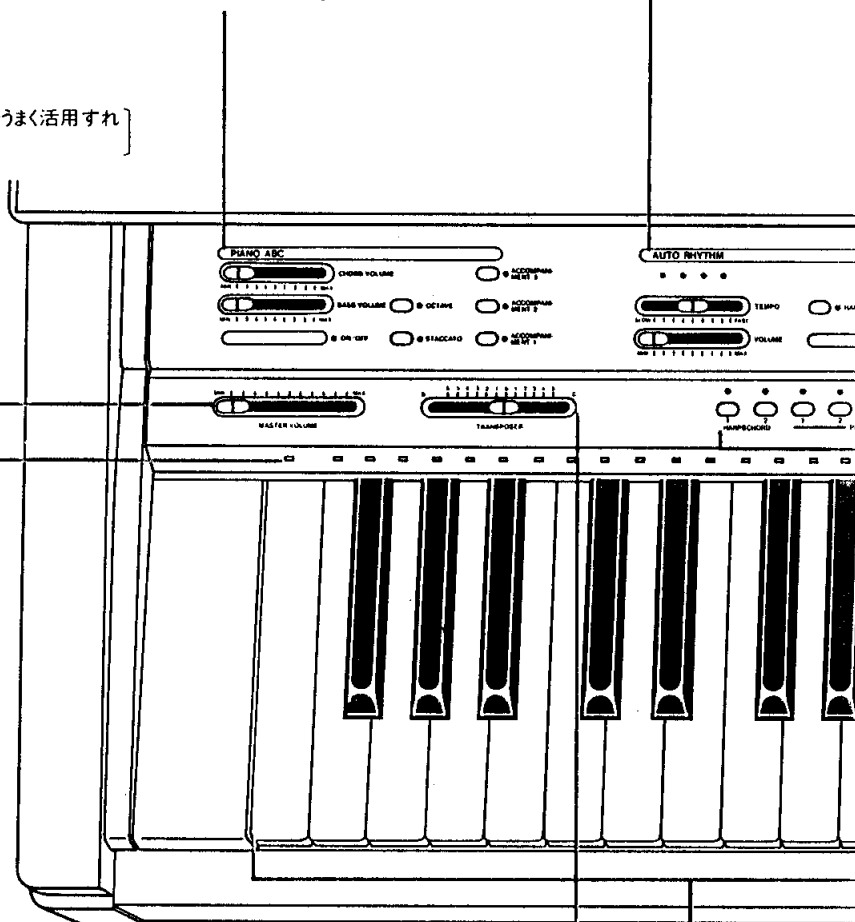
[本体左側背面の棚板下に端子がついています。これらをうまく活用すれば演奏の楽しさが大きく広がります。]

マスターボリューム MASTER VOLUME (6ページ)

[全体の音量を調節するレバーです。]

ガイドランプ

[演奏する鍵盤の位置を示します。]



ヘッドホン端子 HEADPHONES (35ページ)

[ヘッドホンを接続する端子です。]

ピアノABC用鍵盤

[ピアノABCを使って伴奏をしたり、シーケンサーメモリーでコードをメモリーさせるとき、この鍵盤で和音をおさえます。]

トランスポザー TRANSPOSER

[半音ずつ、上下にそれぞれ半オクターブまで、キーを変えることができます。伴奏をするとき、歌う人の声の高さに調節できます。また、音の位置を移動し、やさしいハ長調の弾き方でいろいろな曲が楽しめます。]

(7ページ)

ハンドクラップ1・2 HAND CLAP1・2

「リズムをスタートさせている時このボタンをおすと手拍子が変わります。」

リズムストップ STOP

「リズムやピアノABCの演奏をとめる時に
おします。」

シンクロスタート

SYNCHRO START

「このボタンをONすると、ピアノABC用鍵盤をおすと同時にリズムをスタートさせることができます。」

スタート

START

「このボタンをONすると同時にリズムがスタートします。」

リズムセレクト

「リズムを選ぶボタンです。もう1度同じボタンをおすと上下反対がわのリズムになります。」

4バー/8バー 4BAR/8BAR

「4バーをおすと4小節ごとに、8バーだと8小節ごとにリズムとピアノABCのパターンが変化して華やかな演奏になります。両方を1度に使うことはできません。」

ROMミュージックROM

付属のROMミュージックブック

ひとりで楽しくキーボード演奏の

ランプキャンセル LAMP C

「ガイドランプを消したいときにおし

レフトガイド LEFT GUIDE

「左手のパートをレッスンするとき」

ライトガイド RIGHT GUIDE

「右手のパートをレッスンするとき」

ROMミュージック/パフォーマンスメモリーボリューム

ROM M./P.M. VOLUME (10～19ページ)

オーケストラ/P.M.ベースボリューム ORCHESTRA/P.M.BASS

「ROMミュージックのオリガートとパフォーマンスメモリーのベースの音量を調節します。」

レフト/P.M.レフトボリューム LEFT/P.M.LEFT

「ROMミュージックの左手のパートとパフォーマンスメモリーのレフトの音量を調節します。」

ライト/P.M.ライトボリューム RIGHT/P.M.RIGHT

「ROMミュージックの右手のパートとパフォーマンスメモリーのライトの音量を調節します。」

パフ

自分の

レフ

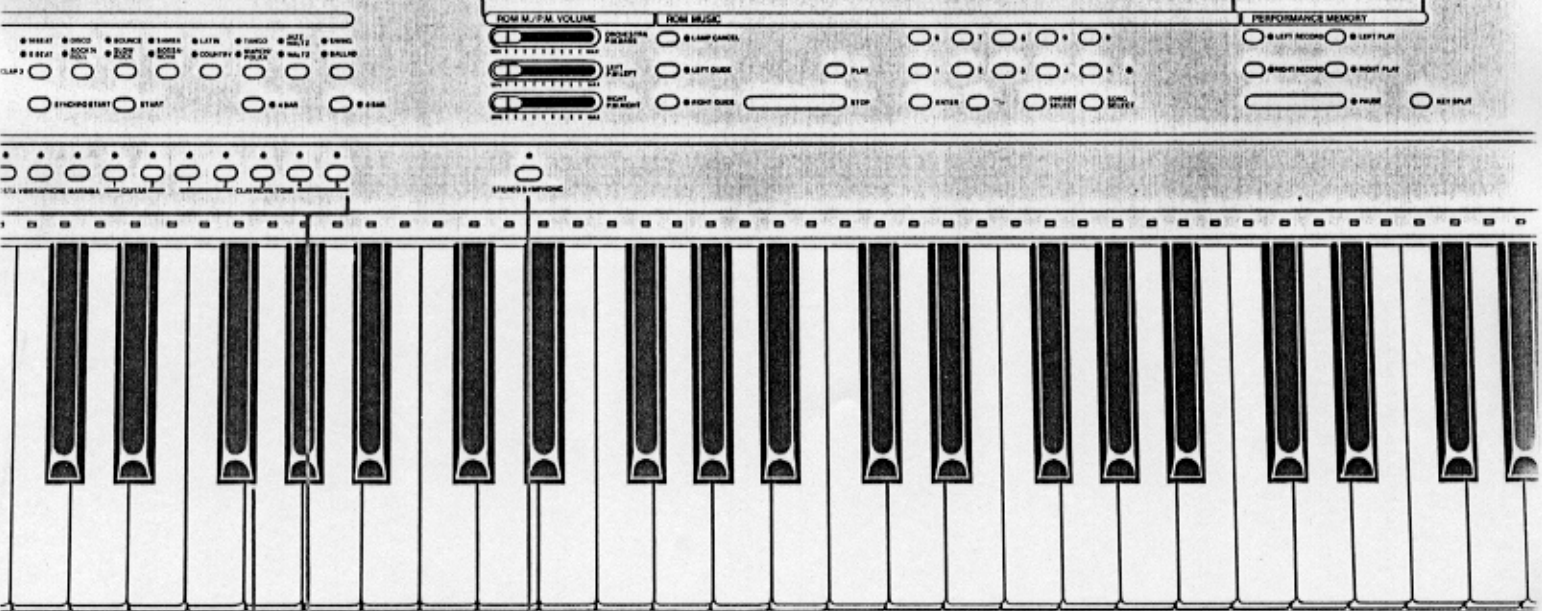
LEI

「演

レフ

LE

「記



ステレオシンフォニック

STEREO SYMPHONIC (6ページ)

「モノラル→ステレオの切り換えボタンです。ONすると音が両側のスピーカーからステレオとなって流れ、広がりのある豊かな響きになります。」

音色セレクト (6ページ)

「音色を選ぶボタンです。」

フィルインセンサー FILL IN

「軽く触れるだけでリズムやピアノABCのパターンを一時的に変化させるフィルインをスタートさせます。」

ハンドクラップ1・2 HAND CLAP1・2

「リズムをスタートさせている時このボタンをおすと手拍子が変わります。」

リズムストップ
STOP

「リズムやピアノABCの演奏をとめる時にします。」

シンクロスタート

SYNCHRO START

「このボタンをONすると、ピアノABC用鍵盤をおすと同時にリズムをスタートさせることができます。」

スタート
START

「このボタンをONすると同時にリズムがスタートします。」

リズムセレクト

「リズムを選ぶボタンです。もう1度同じボタンをおすと上下反対がわのリズムになります。」

4バー/8バー 4BAR/8BAR

「4バーをおすと4小節ごとに、8バーだと8小節ごとにリズムとピアノABCのパターンが変化して華やかな演奏になります。両方を1度に使うことはできません。」

ROMミュージックROM

付属のROMミュージックブック

ひとりで楽しくキーボード演奏の

ランプキャンセル LAMP C

「ガイドランプを消したいときにおし

レフトガイド LEFT GUIDE

「左手のパートをレッスンするとき

ライトガイド RIGHT GUIDE

「右手のパートをレッスンするとき

ROMミュージック/パフォーマンスメモリーボリューム

ROM M./P.M.VOLUME (10～19ページ)

オーケストラ/P.M.ベースボリューム ORCHESTRA/P.M.BASS

「ROMミュージックのオブリガートとパフォーマンスメモリーのベースの音量を調節します。」

レフト/P.M.レフトボリューム LEFT/P.M.LEFT

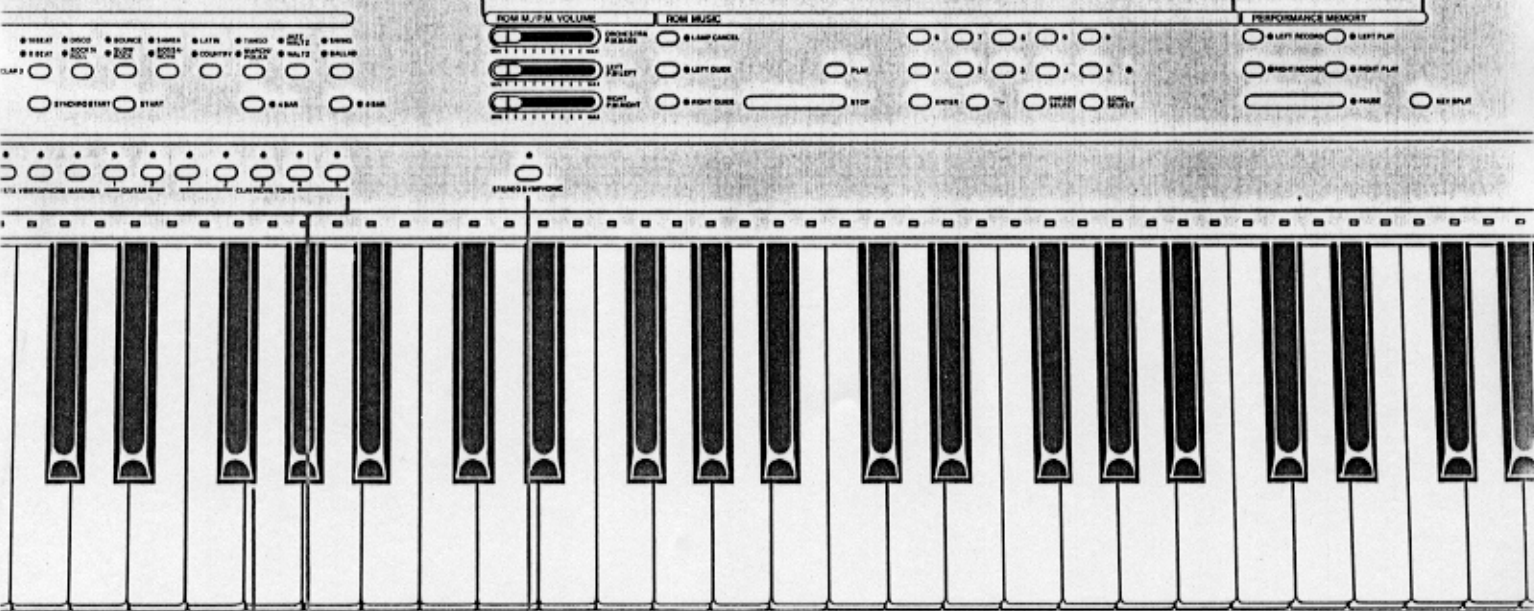
「ROMミュージックの左手のパートとパフォーマンスメモリーのレフトの音量を調節します。」

ライト/P.M.ライトボリューム RIGHT/P.M.RIGHT

「ROMミュージックの右手のパートとパフォーマンスメモリーのライトの音量を調節します。」

パフ
自分の

レフ
LEI
〔演
レ
LE
〔記



ステレオシンフォニック

STEREO SYMPHONIC (6ページ)

「モノラル→ステレオの切り換えボタンです。ONすると音が両側のスピーカーからステレオとなって流れ、広がりのある豊かな響きになります。」

音色セレクト (6ページ)

「音色を選ぶボタンです。」

フィルインセンサー FILL IN

「軽く触れるだけでリズムやピアノABCのパターンを一時的に変化させるフィルインをスタートさせます。」

MUSIC (10～13ページ)

2つすれば、クラビノーバに自動演奏させたり、
レッスンができます。

CEL	ソング/フレーズセクター	エンター ENTER
1・2・3・4・5・6・7・8・9・0・～	[演奏する曲やフレーズを選んだらこのボタンをおしてクラビノーバに記憶させます。]	
プレイ PLAY	フレーズセレクト PHRASE SELECT	
[ROMミュージックブックの演奏をスタートさせるときにおします。]	[部分的なフレーズだけをくりかえしレッスンしたいときなどにおします。]	
ストップ STOP	ソングセレクト	
[ROMミュージックブックの演奏をとめるときにおします。]	SONG SELECT	
	[曲を選ぶときにおします。]	

パフォーマンスメモリー PERFORMANCE MEMORY (14～19ページ)

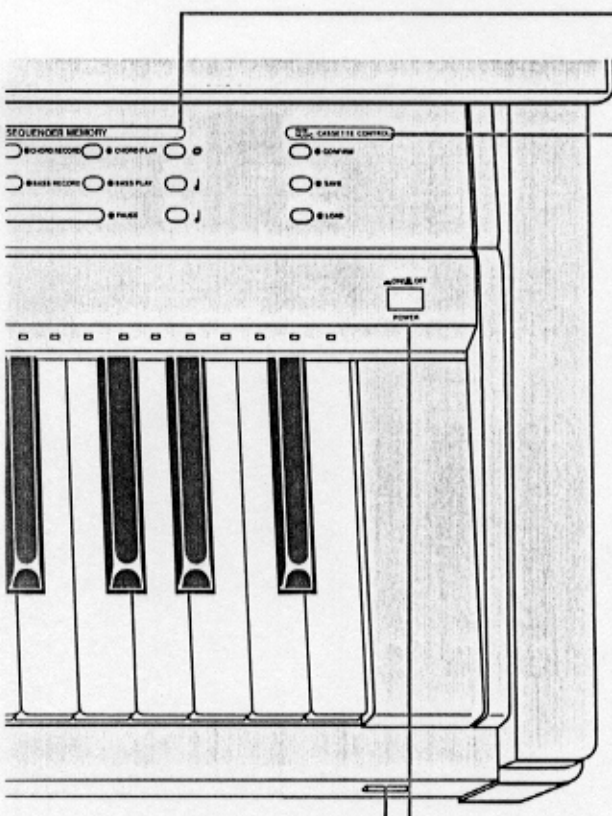
演奏を2パートにわけてリアルタイムに録音し、再生させることができます。

コード/ライトレコード	ポーズ PAUSE
RECORD/RIGHT RECORD	[演奏の記憶、再生を一時的に中断するときにおします。]
プレイ/ライトプレイ	キースプリット KEY SPIT
PLAY/RIGHT PLAY	[低音域と高音域に鍵盤を使いわけて演奏をメモリーさせるときにおします。]

シーケンサーメモリー

SEQUENCER MEMORY (20～23ページ)
コードとベースをあらかじめ記憶させることができます。

コードレコード/ベースレコード
CHORD RECORD/BASS RECORD
[コードとベースを記憶させるときにおします。]
コードプレイ/ベースプレイ
CHORD PLAY/BASS PLAY
[コードとベースを再生させるときにおします。]
音符ボタン
[コードを記憶させるとき、何拍分かを指定するボタンです。]
ポーズ PAUSE
[演奏の記憶、再生を一時的に中断するときにおします。]



RAMミュージック/カセットコントロール
RAM MUSIC/CASSETTE CONTROL

(24～25ページ)
別売のRAMミュージックブックやカセットにパフォーマンスメモリーやシーケンサーメモリーのデータを記録して保存することができます。

コンファーム CONFIRM
[データがきちんとセーブされたか確認するボタンです。]
セーブ SAVE
[クラビノーバのデータをRAMミュージックノートブック、または外部テープに記録するときにおします。]
ロード LOAD
[RAMミュージックノートブック、または外部テープからクラビノーバにデータをよびもどすときにおします。]

パワースイッチ/パイロットランプ
POWER ON/OFF
[電源を入れるスイッチです。パイロットランプが点灯すれば電気が通じています。]

CVP-5

ピアノABC(オートベース/コード) PIANO ABC (8~9ページ)

ピアノABC用鍵盤でコード(和音)をおさえるだけで、リズムカルな和音とベースによる伴奏ができます。

ピアノABCボリューム VOLUME

[ピアノABCの音量を調節するレバーです。]

コードキャンセル CHORD CANCEL

[このボタンをおすと、ピアノABCのコード伴奏がキャンセルされ、ベースの音だけができます。]

バリエーション VARIATION

[このボタンをおすと、ピアノABCのパターンが変化します。]

ピアノABCスイッチ ON/OFF

[ピアノABCを使って演奏するときにおすボタンです。もう1度おすとキャンセルされます。]

オクターブ OCTAVE

[ピアノABCを使っているとき、このボタンをおすと弾いているメロディーにその1オクターブ上の音が加わり、厚みのある演奏をすることができます。]

スタッカート STACCATO

[このボタンをおすと、ピアノABCのコード伴奏が歯切れのいいスタッカートで演奏されます。]

オートリズム AUTO RHYTHM (7ページ)

テンポコントロール TEMPO

[リズムの速さを調節するレバーです。]

リズムセクター

[リズムを選ぶボタンです。もう1度同じボタンをおすと上下反対がわのリズムになります。]

リズムストップ STOP

[リズムやピアノABCの演奏をとめる時にお願いします。]

シンクロン

SYNCH

[このボタンをおすとシンクロン演奏ができます。]

付属端子 (35ページ)

[本体左側背面に端子がついています。これらをうまく活用すれば演奏の楽しさが大きく広がります。]

ヘッドホン端子

HEADPHONES (35ページ)

[ヘッドホンを接続する端子です。]

マスターボリューム

MASTER VOLUME (6ページ)

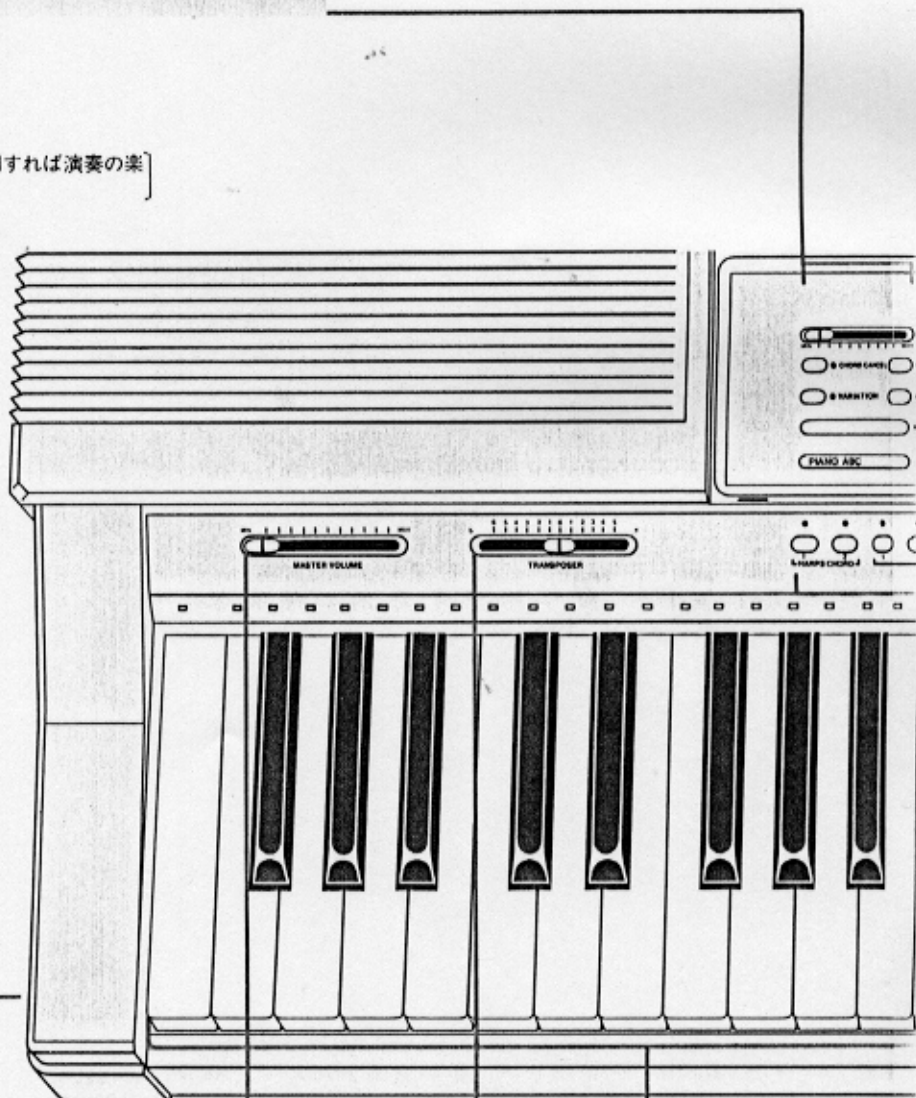
[全体の音量を調節するレバーです。]

ピアノABC用鍵盤

[ピアノABCを使って伴奏をしたり、シーケンさせるとき、この鍵盤で和音をおさえます。]

トランスポージャー TRANSPOSER

[半音ずつ、上下にそれぞれ半オクターブまで、キーを変えることで伴奏をするとき、歌う人の声の高さに調節できます。また、音の位し、やさしい長調の弾き方でいろいろな曲が楽しめます。]



ROMミュージックROM MUSIC

付属のROMミュージックブックをセットす
ひとりで楽しくキーボード演奏のレッスン

リズムボリューム VOLUME

[リズムの音量を調節するレバーです。]

ハンドクラップ1・2 HAND CLAP1・2

[リズムをスタートさせている時このボタンを]
[おすと手拍子加わります。]

4バー/8バー 4BAR/8BAR

[4バーをおすと4小節ごとに、8バーだと8]
[小節ごとにリズムとピアノ/ABCのパターン]
[が変化して華やかな演奏になります。]

フィルイン FILL IN

[このボタンをおすと、その小節だけ、リズム]
[やピアノ/ABCのパターンが一時的に変化]
[します。]

スタート START

[このボタンをONすると同時にリズムがス]
[タートします。]

ランプキャンセル LAMP CANCEL

[ガイドランプを消したいときにおします。]

レフトガイド LEFT GUIDE

[左手のパートをレッスンするときにおします。]

ライトガイド RIGHT GUIDE

[右手のパートをレッスンするときにおします。]

プレイ PLAY

[ROMミュージックブックの演奏をスタート]
[させるときにおします。]

ストップ STOP

[ROMミュージックブックの演奏をとめると]
[きにおします。]

ROMミュージック/パフォーマンスメモリーボリューム

ROM M/P.M. VOLUME (10~19ページ)

オーケストラ/P.M. ベースボリューム ORCHESTRA/P.M. BASS

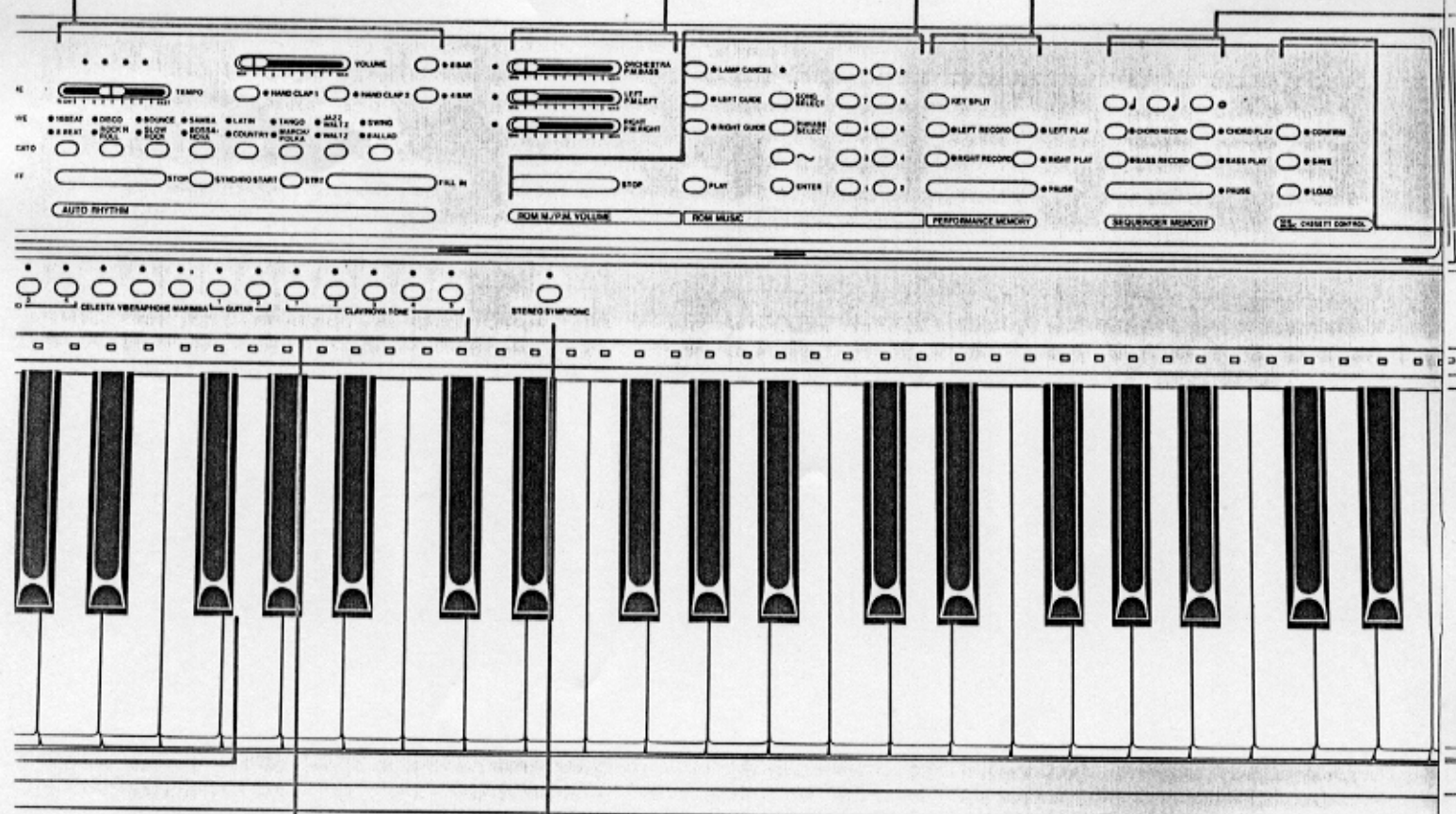
[ROMミュージックのオブリガートとパフォーマンスメモリーのベースの音量を調節します。]

レフト/P.M.レフトボリューム LEFT/P.M. LEFT

[ROMミュージックの左手のパートとパフォーマンスメモリーのレフトの音量を調節します。]

ライト/P.M.ライトボリューム RIGHT/P.M. RIGHT

[ROMミュージックの右手のパートとパフォーマンスメモリーのライトの音量を調節します。]



音色セクター (6ページ)

[音色を選ぶボタンです。]

ステレオシンフォニック

STEREO SYMPHONIC (6ページ)

[モノラル→ステレオの切り換えボタンです。ONすると音が両側のスピーカー]
[からステレオとなって流れ、広がりのある豊かな響きになります。]

ROMミュージックROM MUSIC

付属のROMミュージックブックをセットす
ひとりで楽しくキーボード演奏のレッスン

リズムボリューム VOLUME

[リズムの音量を調節するレバーです。]

ハンドクラップ1・2 HAND CLAP1・2

[リズムをスタートさせている時のボタンを]
おすと手拍子加わります。

4バー/8バー 4BAR/8BAR

[4バーをおすと4小節ごとに、8バーだと8
小節ごとにリズムとピアノ/ABCのパターン
が変化して華やかな演奏になります。]

フィルイン FILL IN

[このボタンをおすと、その小節だけ、リズム
やピアノ/ABCのパターンが一時的に変化
します。]

ランプキャンセル LAMP CANCEL

[ガイドランプを消したいときにおします。]

レフトガイド LEFT GUIDE

[左手のパートをレッスンするときにおします。]

ライトガイド RIGHT GUIDE

[右手のパートをレッスンするときにおします。]

プレイ PLAY

[ROMミュージックブックの演奏をスタート
させるときにおします。]

ストップ STOP

[ROMミュージックブックの演奏をとめると
きにおします。]

ROMミュージック/パフォーマンスメモリーボリューム

ROM M/P.M. VOLUME (10~19ページ)

オーケストラ/P.M.ベースボリューム ORCHESTRA/P.M.BASS

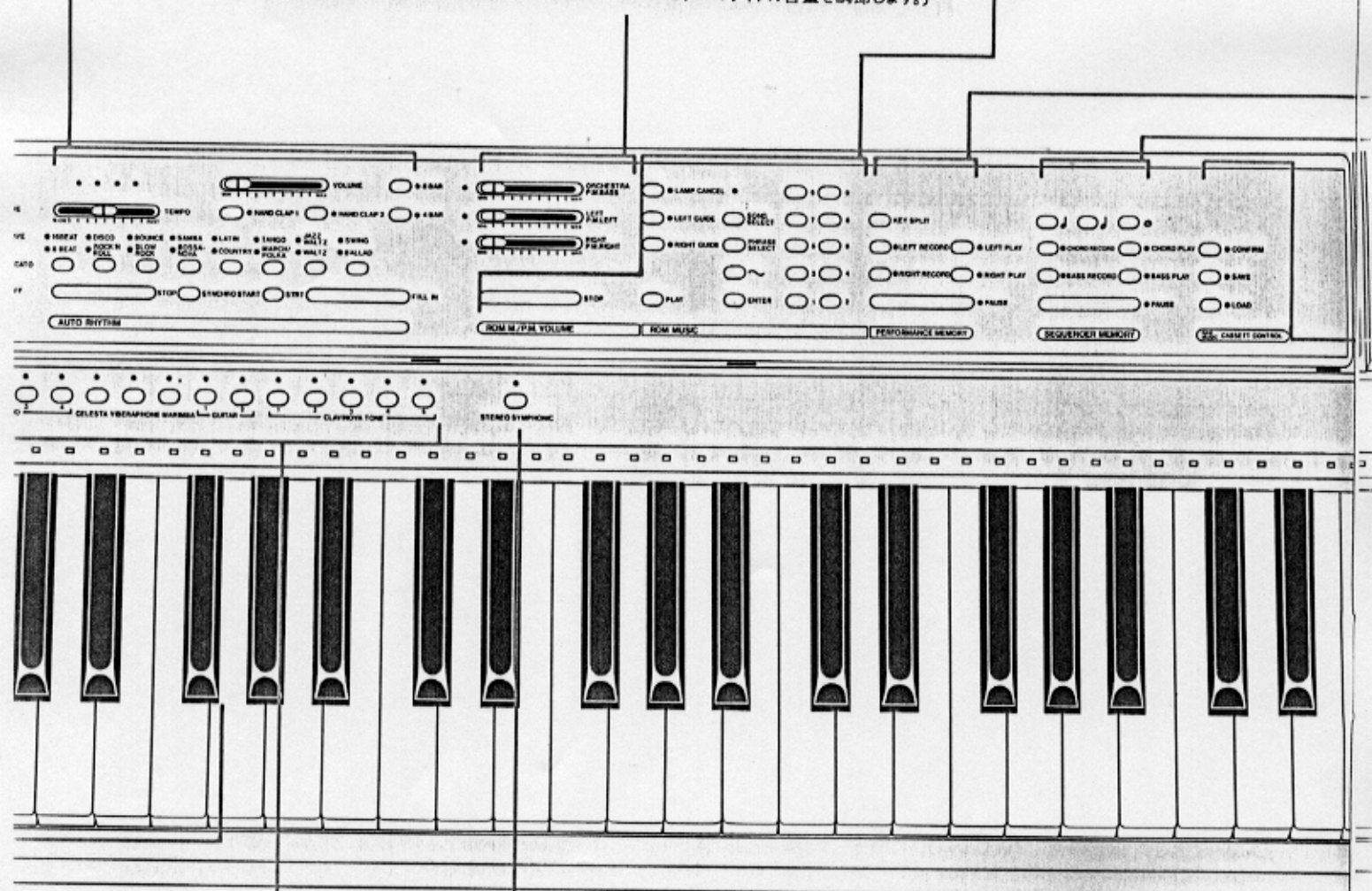
[ROMミュージックのオペリガートとパフォーマンスメモリーのベースの音量を調節します。]

レフト/P.M.レフトボリューム LEFT/P.M.LEFT

[ROMミュージックの左手のパートとパフォーマンスメモリーのレフトの音量を調節します。]

ライト/P.M.ライトボリューム RIGHT/P.M.RIGHT

[ROMミュージックの右手のパートとパフォーマンスメモリーのライトの音量を調節します。]



音色セクター (6ページ)

[音色を選ぶボタンです。]

ステレオシンフォニック

STEREO SYMPHONIC (6ページ)

[モノラル←→ステレオの切り換えボタンです。ONすると音が両側のスピーカー
からステレオとなって流れ、広がりのある豊かな響きになります。]

(10～13ページ)

れば、クラビノーバに自動演奏させたり、
ができます。

ガイドランプ

〔演奏する鍵盤の位置を示します。〕

ソングセレクト ソング/フレーズセクター
SONG SELECT 1・2・3・4・5・6・7・8・9・0・～

〔曲を選ぶときにおします。〕〔演奏する曲やフレーズを選ぶボタンです。〕

フレーズセレクト PHRASE SELECT

〔曲のなかの一部のフレーズだけをくりかえしレッスンしたいときなどに
おします。〕

エンター ENTER

〔演奏する曲やフレーズを選んだらこのボタンをおしてクラビノーバに記
憶させます。〕

パフォーマンスメモリー PERFORMANCE MEMORY (14～19ページ)
自分の演奏を2パートにわけてリアルタイムに録音し、再生させることができます。

キースプリット KEY SPRIT

〔低音域と高音域に鍵盤を使いわけて演奏をメモリーさせるときにおします。〕

レフトレコード/ライトレコード LEFT RECORD/RIGHT RECORD

〔演奏を記憶させるときにおします。〕

レフトプレイ/ライトプレイ LEFT PLAY/RIGHT PLAY

〔記憶させた曲を再生するときにおします。〕

ポーズ PAUSE

〔演奏の記憶、再生を一時的に中断するときにおします。〕

シーケンサーメモリー

SEQUENCER MEMORY (20～23ページ)

コードとベースをあらかじめ記憶させることができます。

音符ボタン

♪・♪・♪

〔コードを記憶させるとき、何拍分か指定す
るボタンです。〕

コードレコード/ベースレコード

CHORD RECORD/BASS RECORD

〔コードとベースを記憶するときにおします。〕

コードプレイ/ベースプレイ

CHORD PLAY/BASS PLAY

〔コードとベースを再生させるときにおします。〕

ポーズ PAUSE

〔演奏の記憶、再生を一時的に中断するときにおします。〕

RAMミュージック/カセットコントロール

RAM MUSIC/CASSETTE CONTROL (24～25ページ)

別売のRAMミュージックブックやカセットにクラビノー
バに記憶させたデータを保存することができます。

コンファーム CONFIRM

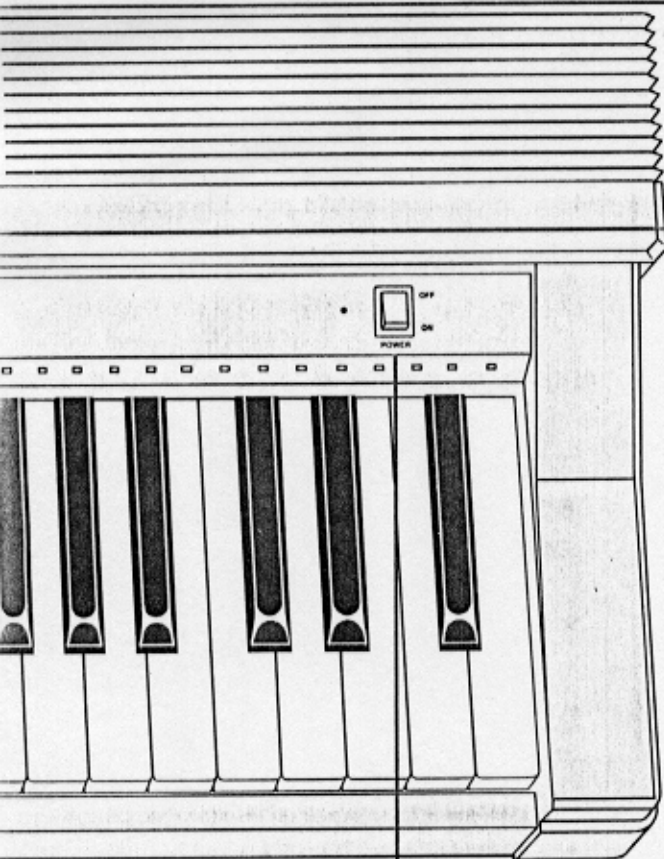
〔データがきちんとセーブされたか確認するボタンです。〕

セーブ SAVE

〔クラビノーバのデータを外部に記録するときにおします。〕

ロード LOAD

〔外部からクラビノーバにデータをよびもどすときにおします。〕



パワースイッチ/パイロットランプ

POWER ON/OFF

〔電源を入れるスイッチです。パイロットラン
プが点灯すれば電気が通じています。〕

好きな音色で弾いてみましょう

クラビノーバの音色は16種類。FM音源によるイキイキとした、ピアノやハープシコードなどの楽器音が選べます。

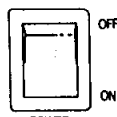
1 パワースイッチをON。

ON OFF



(CVP-7)

パイロット
ランプが点灯



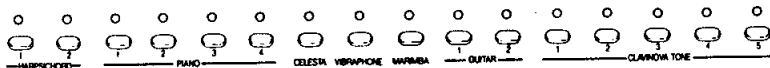
(CVP-5)

2 マスターボリュームを調節。



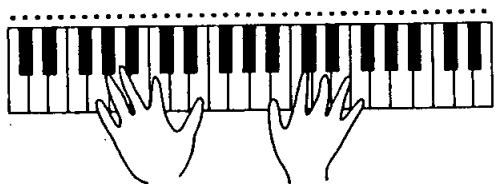
まん中くらいに
セット

3 音色セレクトーから 好きな音色をひとつ選んでON。



ひとつ選んでON。その選んだ音色にランプが点灯します。

4 鍵盤を弾いてみましょう。

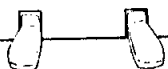


いろいろな音色で弾いてみましょう。

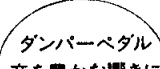
5 ペダルを踏んで、弾いてみましょう。

(CVP-5)

ソフトペダル
音をやわらかな
響きにします



ダンパーペダル
音を豊かな響きに
します



6 ステレオ・シンフォニックを加えてみましょう。



音にうるおいをもたせ、
広がりのある響きにします。
曲想に応じて、ご使用ください。

NOTE

★パワースイッチをONした時は、いつもハープシコード1の音色と8ビートのリズムにセットされます。

★マスターボリュームは全体の音量を調節します。

★2つの音色を同時に選んでミックスさせることはできません。

★クラビノーバトーンは、こんなイメージの音です。

クラビノーバトーン 1	フルート系
クラビノーバトーン 2	ブラス系
クラビノーバトーン 3	ストリングス系
クラビノーバトーン 4	ジャズオルガン系
クラビノーバトーン 5	パイプオルガン系

★16音ポリフォニック。つまり、16の鍵盤まで同時に鳴らさえて鳴らすことができます。

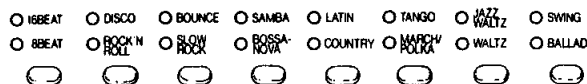
★ペダルを踏んでも、ピアノABCの音に効果はかかりません。

★ペダルは踏んでいる間、効果がかけられます。

リズムにあわせて弾いてみましょう

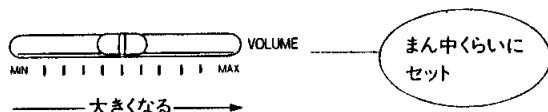
リズムは16種類。PCM音源ならではの迫力あるドラム&パーカッションで自動的に刻まれます。

1 リズムセクターから 好きなリズムをひとつ選んでON。



ひとつ選んでON。同じボタンをもう1度おせば、上下反対がわのリズムが選べます。

2 リズムボリュームを調節。



3 スタート、シンクロスタートのどちらかをON。



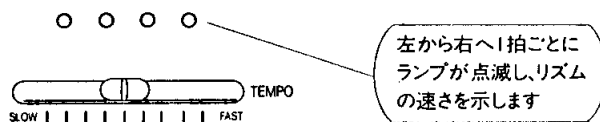
<スタート>

ボタンをおすと同時に、選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。

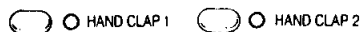
<シンクロスタート>

このボタンをおすと演奏スタンバイの状態となり、ピアノABC用鍵盤(E0~F#2)をおすと同時に選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。ランプでテンポを確認して、メロディーとリズムを同時にスタートさせることができます。もう1度おすとリズムが止まり、再び演奏スタンバイ状態にもどります。ブレイクなどの時に便利です。

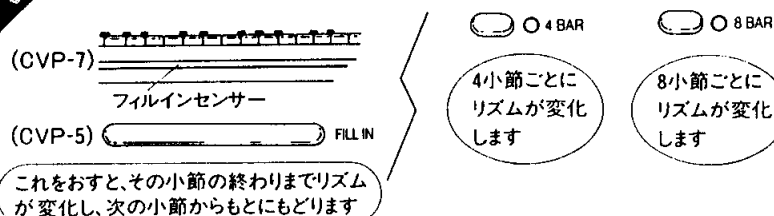
4 テンポコントロールでリズムの速さを調節。



5 ハンドクラップをON。 手拍子を加えてみましょう。



6 リズムに変化をつけてみましょう。



NOTE

★2つ以上のリズムを組み合わせて使うことはできません。

★リズムボリュームが最小(MIN)の位置にあると、リズムの音はでません。マスターボリュームが最小の位置にあると、リズムボリュームを最大にしてもごく小さな音になります。

★リズムを止める時は、ストップをおします。

★シンクロスタートをおして、まだリズムをスタートさせていない時は、左はじのテンポランプだけが、1拍ごとに点滅します。

★ハンドクラップ1と2、1・2を両方おした時の3パターンから選べます。

★4バー、8バー、フィルインのパターンは選んだリズムによって変化します。

★4バー、8バーは、そのボタンをおした小節から、それぞれ4小節、8小節ごとにリズムが変化します。

★フィルインでリズムをスタートさせることもできます。シンクロスタートをONし、フィルインをおせば変則的なリズムでスタートし、2小節目からふつうのリズムにもどります。

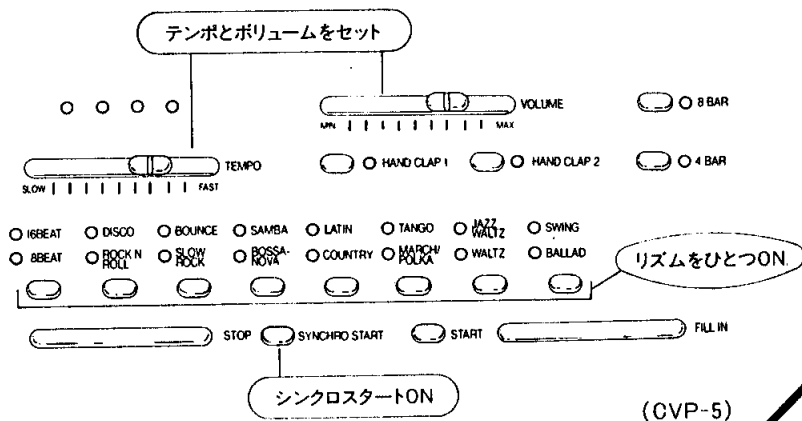
ピアノABCで伴奏をつけましょう

ABCはオートベース/コード(Auto Bass Chord)の略。

和音をおさえるだけでリズムにのったコードとベースによる伴奏ができます。

NOTE

1 リズムをセット。

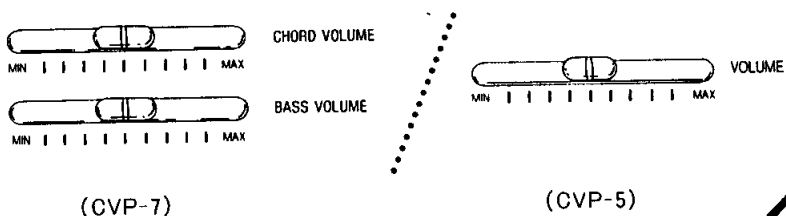


2 ピアノABCスイッチをON。



ピアノABCスイッチをONにするとF#2の上のガイドランプが点灯します。そのランプより低音域がピアノABC用鍵盤です。

3 ピアノABCのボリュームを調節。



4 ピアノABC用鍵盤でコード(和音)をおさえてみましょう。



鍵盤をおさえると同時に和音とベース音による伴奏がリズムにのってでています。

★CVP-7のコードボリューム、ベースボリュームとCVP-5のピアノABCボリュームが、最小(MIN)の位置にあるとその音はでません。

★鍵盤から指を離したあとも、同じ伴奏がくり返されます。コードが変わる時だけ鍵盤をおさえてください。

★コードを変えるところで、指を鍵盤から離さないで動かすとコードが変わらないことがあります。いったん鍵盤から指を離すようにしてください。

★ピアノABCの音色は、音色セクターで選んだ音色と関係ありません。また、リズムをスタートさせていなくてもピアノABCスイッチがONされていると、ピアノABC用鍵盤から、音色セクターで選んだ音色はなりません。

ピアノABCのパターンを変化させてみましょう。

 ○ ACCOMPANIMENT 3

 ○ ACCOMPANIMENT 2

 ○ ACCOMPANIMENT 1

アカンパニメント1・2・3によって、ピアノABCのパターンが選べます。演奏する曲に応じて好きなパターンをお選びください。

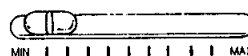
(CVP-7)

 ○ VARIATION

バリエーションのボタンをおすとピアノABCのパターンが変化します。演奏する曲にあわせてお使いください。


(CVP-5)

コードの音をキャンセルしてみましょう。

 CHORD VOLUME
MIN MAX

コードボリュームレバーを最小(MIN)の位置に

(CVP-7)


 ● CHORD CANCEL

コードキャンセルのボタンをON

(CVP-5)

ピアノABCの伴奏からコードの音がキャンセルされ、ベース音だけがリズムにのってでてきます。左手でベース演奏、右手でコードを刻んで弾き語りをするなど、バラエティーに富んだ演奏をお楽しみください。

スタッカートのボタンをON。

 ● STACCATO

コード伴奏の音がスタッカートで歯切れよく刻まれます。曲想に応じて使ってください。

オクターブのボタンをON。

右手で鍵盤をおさえてみましょう。

 ● OCTAVE

右手でおさえている音に1オクターブ上の同じ音がハーモニーとして加わり、厚みのある演奏ができます。

NOTE

★検出するコードは次の13種類です。

例 C、Cm、C7、Cm7、C_M7、C₆、C⁻⁵、Caug、Cdim、C7sus4、C7⁻⁵、C7⁺⁵、Cm7⁻⁵

- ・Cdimコード、または2音以下5音以上押鍵した場合、ベースはその最低音だけをリズムに演奏します。
- ・Caug、Cm7⁻⁵コードを転回形でおさえると、ベースがそのコードのルートを弾かず最低音をルートとして演奏します。
- ・Cm7コードを第1転回にしておさえると、その最低音をルートとするシックスコードになります。

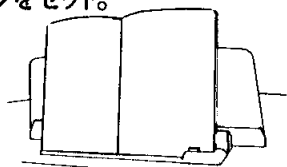
★リズムをスタートさせなくても、ピアノABCスイッチをONにしてコード音をキャンセルすれば、ピアノABC用鍵盤はベースとして演奏することができます。

ROMミュージックブックでレッスンを

クラビノーバには、自動演奏を聴いたり、ガイドランプを見ながらひとりで楽しくキーボードプレイのレッスンをすることができるROMミュージックブックがついています。“メロディーマスター編”と“コードマスター編”のどちらからレッスンをスタートしてもかまいません。STEP1から確実にマスターしながらレッスンをすすめましょう。

■まず、クラビノーバの演奏を聴きましょう。

1 ROMミュージックブックをセット。



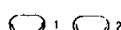
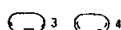
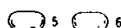
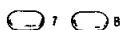
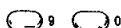
ROMミュージックブックの最後のページにあるROMチップをクラビノーバのソケットに差し込みます。

2 ソングセレクトボタンをON。



上のランプが点滅します。

3 ソング/フレーズセクターで 自動演奏させる曲の番号をおします。



(CVP-5)

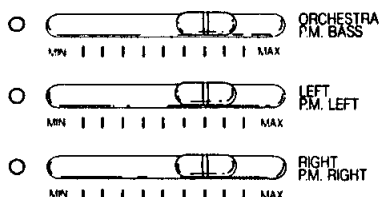
ROMミュージックブックの楽譜に書いてある番号のボタンをおします。

4 エンターのボタンをおします。



鍵盤の上のガイドランプが左から右へ点滅走行し、データが入力されたことをしめします。

5 オーケストラ、レフト、ライトのボリュームをそれぞれセット。



6 プレイのボタンをON。



1小節“チッ・チッ・チッ・チッ”とメトロノーム音がなり、自動演奏がスタート。左手と右手のパートのガイドランプが、曲にあわせて点滅します。曲が終わると、自動的に演奏がとまります。

NOTE

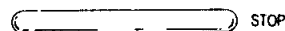
★CVP-7のソケットにはフタがついています。手前から譜面板側にあけてご使用ください。

★2曲以上をくり返し連続して自動演奏させたいときは、「～」ボタンを使います。たとえば、1・2・3の曲を自動演奏させたいときは、「1」「～」「3」とおします。このとき、演奏の途中でソケットからROMミュージックブックのROMチップをぬくと、ぬいたときに演奏していた曲がもう一度くり返されて演奏が自動的にとまります。



★「1」「～」とおすと、ROMミュージックブック1冊の曲がすべてくり返し自動演奏されます。

★曲の途中でとめたいときは、ストップのボタンをおします。



★いちどエンターしたROMミュージックブックのデータは、次のいずれかの操作を行わないかぎり、パワースイッチをOFFにしても約1週間保持されます。

- ・ROMミュージックブックの違う曲をエンターする。
- ・パフォーマンスメモリーを使用する。
- ・シーケンサーメモリーを使用する。
- ・RAMミュージックノートブック、またはテープからデータをロードする。

●自動演奏させたい曲の番号をおし、プレイのボタンをONするだけでも演奏をスタートさせることができます。

●自動演奏は、スタートさせる前のパネルの状態に関係なく演奏されます。

●プレイをONした後の、パネル操作によって次の変更をすることができます。

- ・リズムパターンの変更
- ・テンポの調節
- ・4バー/8バー、ハンドクラップ、フィルイン

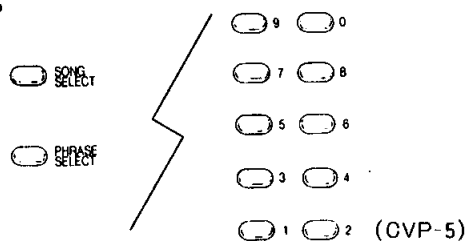
※自動演奏がストップした後、もう一度スタートさせるとパネルで変更した内容は自動的にキャンセルされます。

※音色セクターによる音色の変更はできません。

■ガイドでレッスン

ガイドを使えば、ガイドランプにしたがってパート別に演奏のレッスンができます。正しく鍵盤をおさえるまで、他のパートの演奏が待っていてくれるので、初めての人でもマイペースでレッスンできます。

1 ソングセレクトボタンとソング/フレーズセクターでレッスンする曲を選びます。



2 エンターをON。



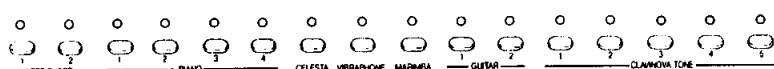
3 ガイドのボタンをON。

☐ LEFT GUIDE — 左手のレッスンをするときにはレフトガイドのボタンをおします。

☐ RIGHT GUIDE — 右手のレッスンをときはライトガイドのボタンをおします。

ボタンをおすとランプが点灯します。

4 音色セクターで曲にあった音色を選びます。



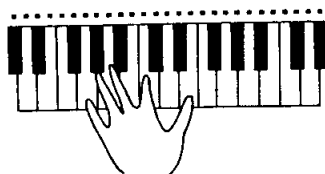
いろいろな音色で弾いてみましょう。

5 プレイのボタンをON。



自動演奏がスタートしますが、イントロが終わると曲がとまってリズムがテンポを刻み、演奏する鍵盤の上のガイドランプが点灯します。

6 ランプを追いかけて鍵盤を弾きましょう。



ランプの点灯している鍵盤をおさえてみましょう。曲がすすんで別のランプがつかますね。このように次々とランプが弾く鍵盤をおしえてくれて、あなたの演奏にクラビノーバの演奏がついていきます。

NOTE

●すでにエンターしてある曲をレッスンする場合は、再度1・2の手順でエンターしなおす必要はありません。

●両方のボタンを一度におして両手のレッスンをすることはできません。



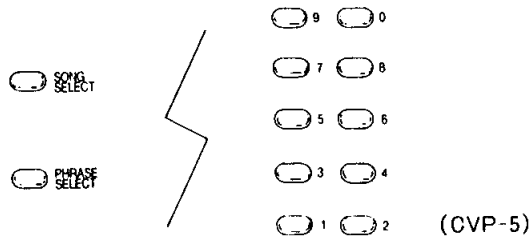
★ランプは、正しい演奏のタイミングより1拍分(4分音符分)先行して点灯します。

●ガイドを使ってレッスンしているとき、鍵盤からは同時に最高4音まで音がでます。

■マイナスイワン演奏でレッスン

なれてきたら、今度はその曲本来のテンポでレッスン。他のパートの演奏は待っててください。はじめは、少しゆっくりのテンポでレッスンしましょう。

- 1** ソングセレクトのボタンをONしたらソング/フレーズセクターで曲を選びます。

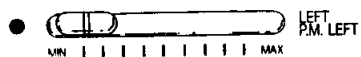


- 2** エンターをON。



- 3** レッスンしたいパートのROMミュージック/パフォーマンスメモリーボリュームを最小にします。

右手のレッスンをしたいときは
ライトボリュームを最小(MIN)に

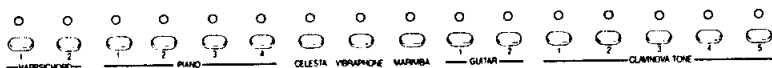


左手のレッスンをしたいときは
レフトボリュームを最小(MIN)に



そのボリュームの左側のランプが点灯します。

- 4** 音色セクターで曲にあった音色を選びます。

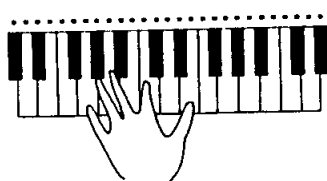


- 5** プレイのボタンをON。



ボリュームを最小にしたパートがキャンセルされて自動演奏がスタートします。

- 6** ランプにしたがって演奏しましょう。



NOTE

- すでにエンターしてある曲をレッスンする場合は、再度1・2の手順でエンターしなおす必要はありません。

★レフトとライトの両方のボリュームを最小にすると、ランプを追いながら両手のレッスンをすることができます。

★オーケストラのボリュームを最小にするとガイドランプは点灯しないで、演奏からオーケストラのパートがキャンセルされます。自分の好きなオブリガートをつけて演奏してみましょう。

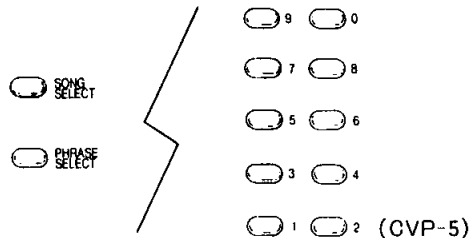


- ★テンポを調節することができます。プレイのボタンをおした後にテンポレバーを動かしてください。

■苦手なフレーズをくりかえしレッスン

1曲全部ではなく、部分的なフレーズだけをくりかえし演奏させることができます。
あるフレーズだけを集中してレッスンしたいときなどに便利です。

1 ソングセレクトのボタンをONしたらソング/フレーズセクターで曲を選びます。



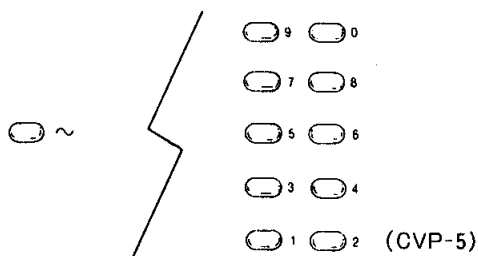
2 エンターをON。



3 フレーズセレクトのボタンをON。



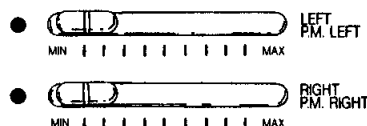
4 ソング/フレーズセクターでくりかえしレッスンしたいフレーズを選びます。



5 エンターをON。



6 レッスンしたいパートのROMミュージック/パフォーマンスメモリーボリュームを最小にします。



7 プレイをON。



■ランプキャンセルをON。



ガイドランプが点灯しません。

なれてきたらランプを消して楽譜を見ながらレッスンしましょう。

NOTE

●すでにエンターしてある曲をレッスンする場合は、再度1・2の手順でエンターしなおす必要はありません。

★2つ以上のフレーズを選びたいときは、「~」のボタンを使います。たとえば、**123**を弾きたいときは、「1」「~」「3」とおします。

★2ヶタ以上のフレーズのときは10の位、1の位の順におします。たとえば、**10**なら「1」「0」とおします。

★つづいていない2つ以上のフレーズを選ぶことはできません。たとえば**2**のフレーズと**5**のフレーズというような選びかたをすることはできません。

★ガイドを使ってフレーズ練習をすることもできます。